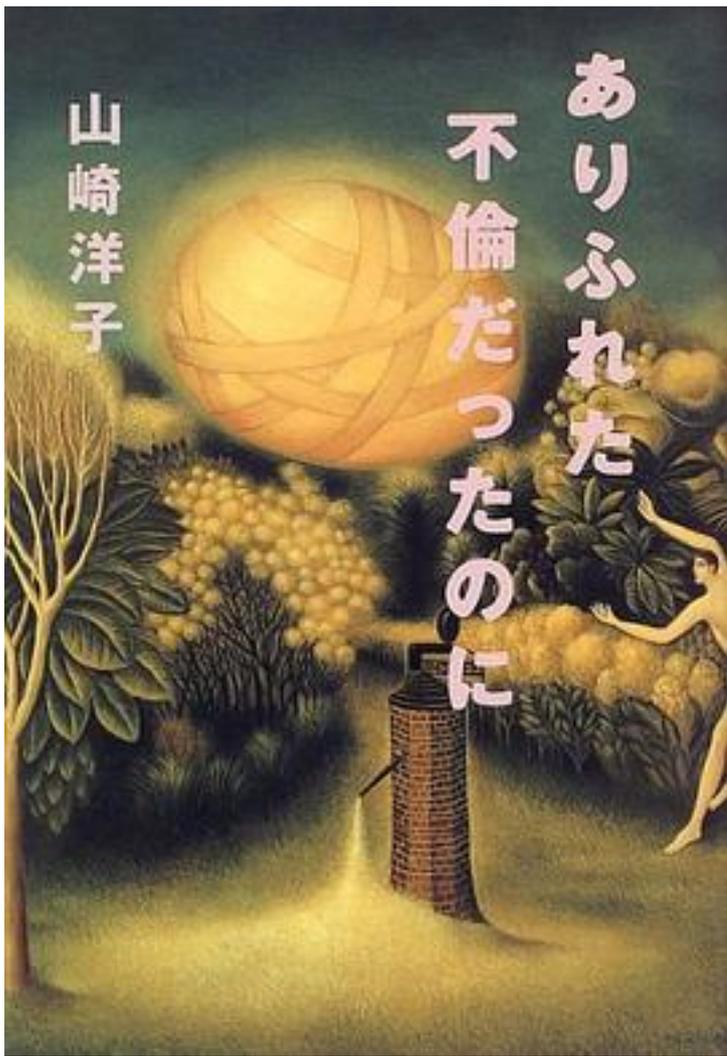


ありふれた不倫だったのに



[ありふれた不倫だったのに 下载链接1](#)

著者:山崎洋子

出版者:光文社

出版时间:1996-11

装帧:单行

isbn:9784334922764

32歳、吾妻柚子「女の責任、取らせていただきます」乱歩賞作家が描く新しいラブ・アフェア・サスペンス。

“妻の美津子が四歳の女の子を誘拐してきた、助けてくれ”不倫相手・北代文也からの電話が吾妻柚子の運命を変えた!無事に女の子を保護した柚子だったが…。まゆと名乗ったその子は、母親が崖から転落死、父親は美津子に包丁で刺殺されたと言うではないか!?!—これが不倫の代償か。柚子はすべてを賭けて事件に挑む。江戸川乱歩賞作家が描く危険な恋。

作者介绍:

山崎 洋子（やまざき ようこ、1947年8月6日 - ）は、日本の小説家。

1947年、京都府宮津市に生まれる。

神奈川県立新城高等学校卒業。

コピーライター、児童読物作家、脚本家などを経て、1986年、『花園の迷宮』で第32回江戸川乱歩賞を受賞し、小説家デビュー。

1995年、『熱月』で第16回吉川英治文学新人賞候補。

夫は脚本家の山崎巖。

テレビ朝日系「スーパーモーニング」にコメンテーターとして出演していた。

目録:

[ありふれた不倫だったのに\\_ダウンロード1](#)

## 标签

山崎洋子

## 评论

情节极度错综复杂，开篇非常有趣：婚外情对象突然打电话给女主角，声称自己太太精神失常，绑架了一个四岁的女孩，希望女主角能出现帮助平息。结果小姑娘被女主角暂时带回家后居然语出惊人，随后女主角又意外地卷入蹊跷的死亡事件……本书创作的时代，即便是女性出轨也不再是什么内心犹豫的大事，开篇很快就切入双重不伦这个主题，但是随着剧情迅速进展，故事背后其实暗藏玄机（但是稍微缺乏伏线）。虽说不伦是

危险的游戏，既然当初决定参加，就应承担相应责任，可是，完全不知道内情的女主角，一直被各个登场人物的思惑玩弄于股掌之间，读者都觉得身心俱疲。后半一段关于男性机能复苏的插曲简直傻眼，被诱拐的女童的正体也让人仰天，而且最后的大结局很微妙，喜忧参半的感觉。

-----  
[ありふれた不倫だったのに\\_下载链接1\\_](#)

书评

-----  
[ありふれた不倫だったのに\\_下载链接1\\_](#)